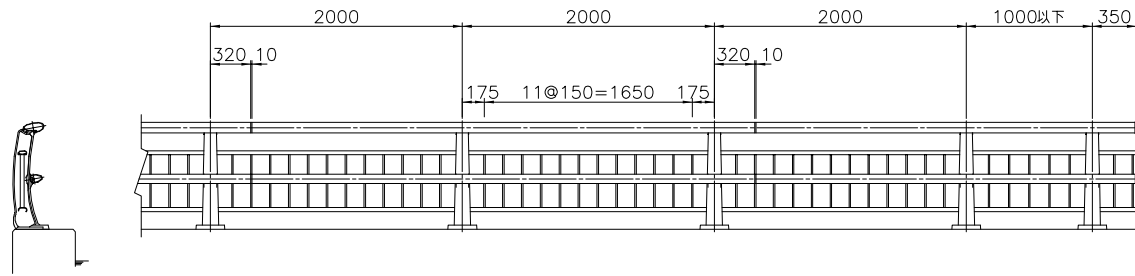
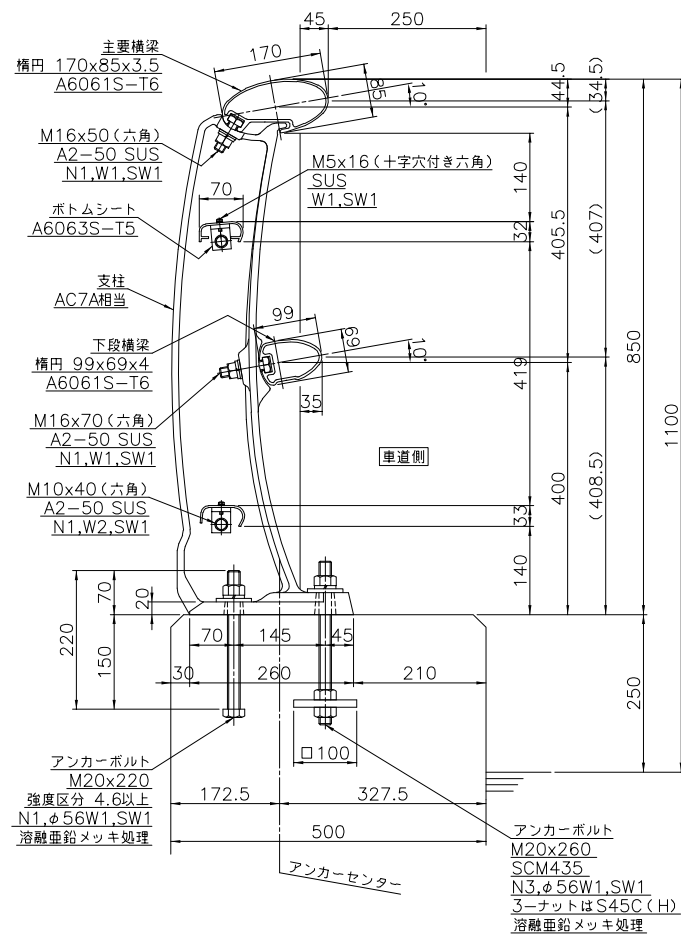


姿 図 S=1/30

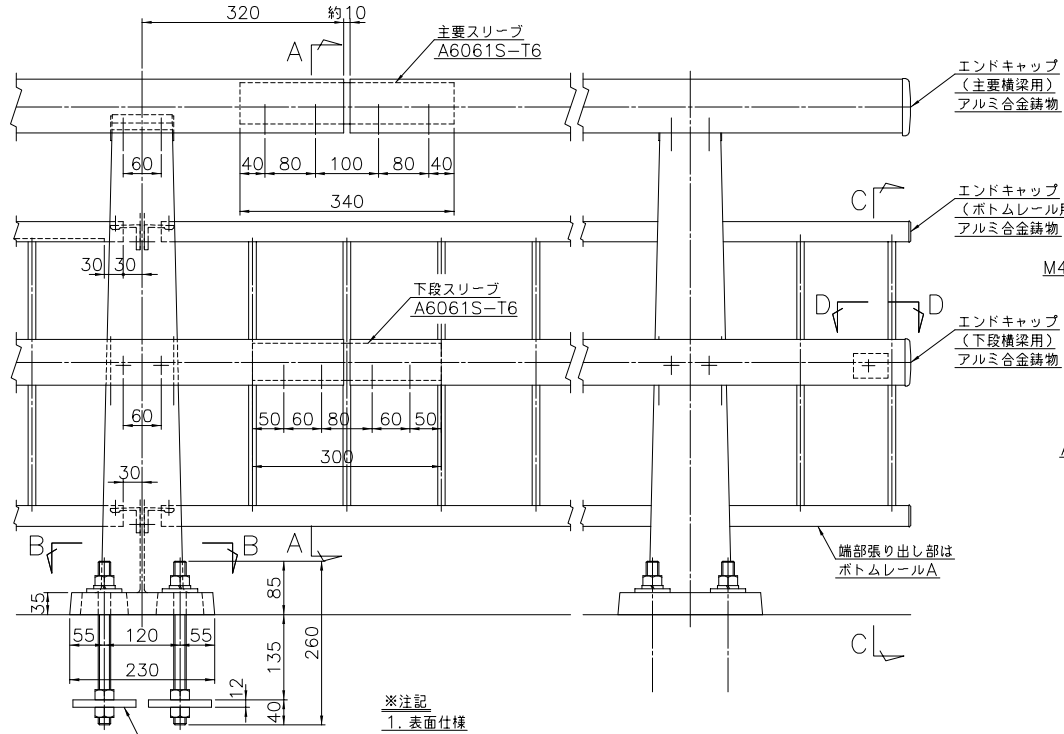


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 B種

繼手部

端 部

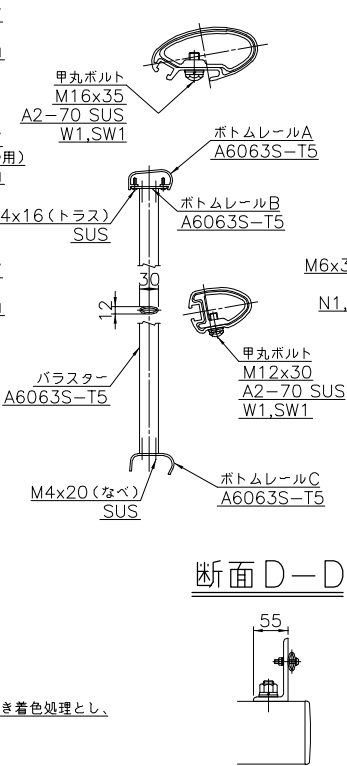


※注記

1. 表面仕様
主要橋梁、下段橋梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調に別途適合とする。
2. 本防護槽の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金架橋梁用防護槽設計要領」（平成30年6月）、
「アルミニウム合金架橋梁用防護槽製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護槽の支は、レベール用を示し、0～2.5%加配に使用とする。
5%用は2.5～7.5%加配に使用とする。

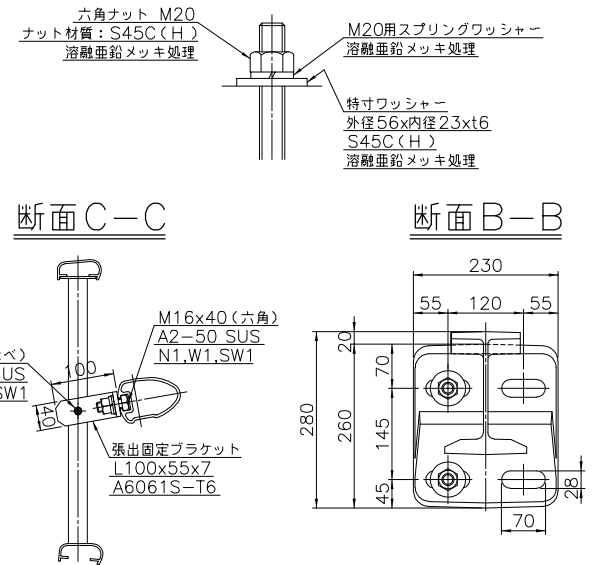
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

断面 A—A



断面 D—D

アンカーナット締め付け部 S=1/3

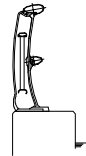


断面B—B

日軽エンジニアリング（株）

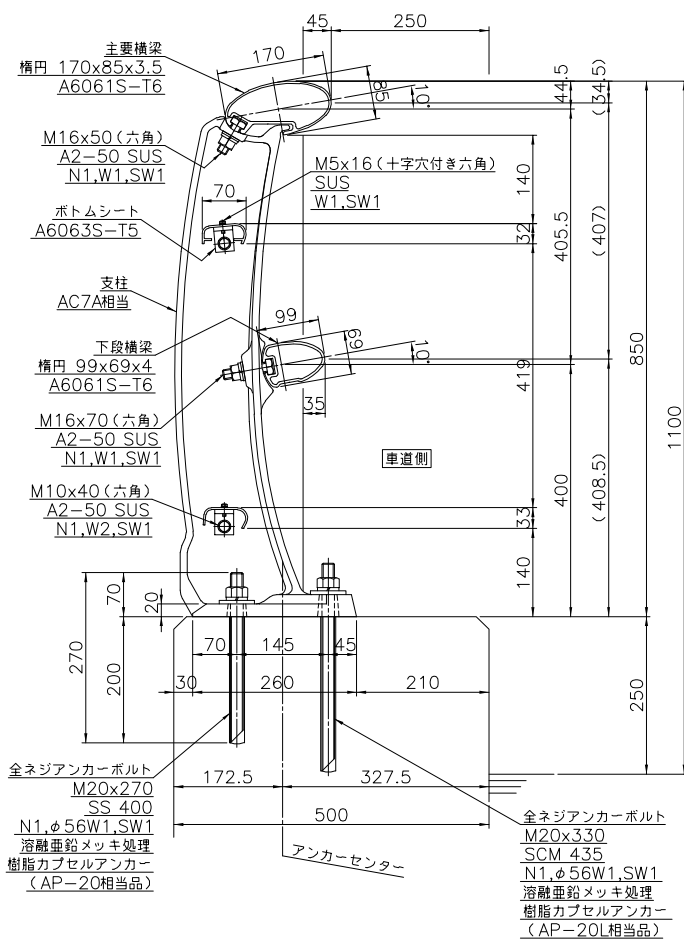
NB-32EB-85N

高欄兼用車両防護柵 B種
2本ビーム+格子付き H=850mm
ナット締め付けアンカー式

$$\underline{S = 1/30}$$


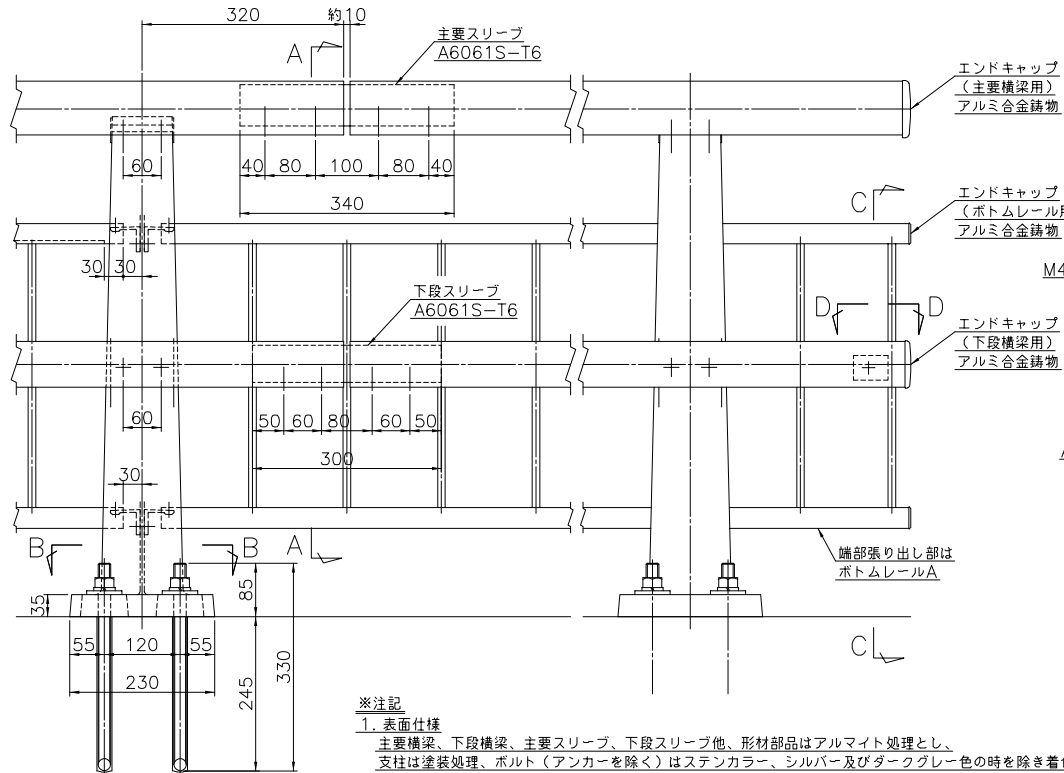
車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 B種



繼手部

端 部



※注記

1. 表面仕様

主要橋梁、下段橋梁、主要スリブ、下段スリブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。

2. 本防護柵の設計・製作仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成

「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、

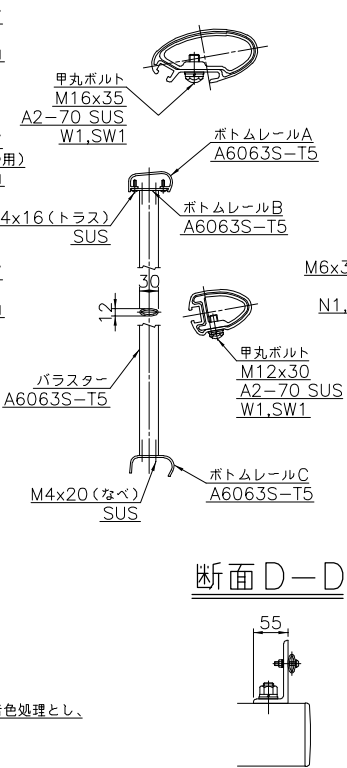
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。

5. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5%~7.5%勾配に使用とする。

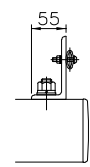
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

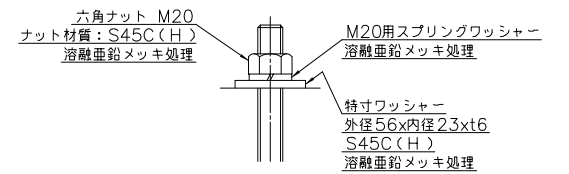
断面 A—A



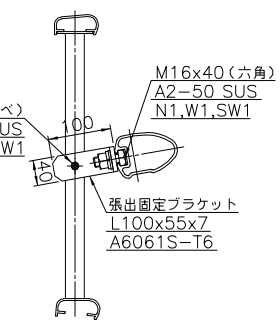
断面 D—D



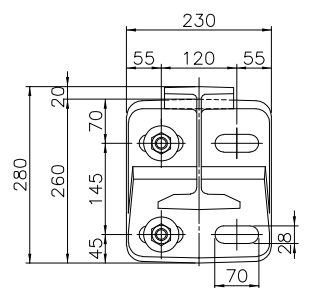
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面 C—C



断面 B—B



日軽エンジニアリング（株）

NB-32EB-85CH

高欄兼用車両防護柵 B種
2本ビーム+格子付き H=850mm
樹脂カプセルアンカー式